

**【教育実践論文(ソニー子ども科学教育プログラム) 審査講評】**  
**2019年度 最優秀校**  
**北九州市立藤松小学校**

「科学が好きな子ども」を育てるために長年にわたって学校全体が一丸となって取り組み、11年連続して応募されました。2016年度からの取り組みにおいては、これまでの授業改善の取り組みが集大成され、「藤松小プラン」として一層充実したものとなっています。

貴校の取り組みの中心となる科学する心を支える「授業づくり」については、目指す子ども像の実現に向けて着実に実践を積み重ね、手立てを広げ深めていることが高く評価されました。

今回の論文では、理科・生活科の4つの単元の報告をいただきましたが、取り組みのポイントとなる「見る」と「説明し合う」ことを大事にして、子どもたち一人一人が主体的に追究して問題解決を図る単元の展開や場の構成が工夫されています。

授業の様子からも、事象に出会う場の構成や説明場面の設定など単元の工夫を基礎としながら、子どもたちの生き生きとした追究につながる具体的な授業場面での創意工夫が見られます。また、教材の特質を踏まえた事象の扱いなど、子どもの問題意識を高める工夫が行われています。

もう一つの取り組みの柱である「環境づくり」についても着実に充実し、保護者・地域との連携を図りながら子どもたちへの様々な働きかけが行われていることは、大変すばらしい貴校の財産となっています。